



青き楓

島高だより
令和6年12月号
(通巻第225号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

職員室から

「ヘアカットモデル」

校長 渡崎 次郎

学生時代に数多くのアルバイトを経験した。清掃局(家庭ごみ収集)、引越センター、体育館の床張り、水産加工場(マグロ担当)、ホテルの夜間警備、サマースクール講師、家庭教師、ヘアカットモデル、プライダルショーモデル、などなど。どのアルバイトもたくさんの思い出があるが、今回は、ヘアカットモデルのエピソードを紹介する。

大学の掲示板に、「男性ヘアカットモデル。日当5千円。」とあった。「髪を切ってもらって5千円とは、楽勝だ。」と思い、すぐに連絡を取った。すると、名前と学年を聞かれただけで決まってしまった。当日は私服で、手ぶらでいいとのこと。しかも、1時間程度で終わるらしい。「なんとラッキーなアルバイトに巡り会えたことか。」と、私は神様に感謝した。

アルバイト当日、私はジーパンとTシャツ姿で、指定された会場に到着した。控室に通されて、担当者から説明を受けた。1人の講師(東京の有名な理容師)が、50名ほどの受講者(地元の理容師)に、講義をするらしい。その講義の中で、「接客&カット」の実演をするとのこと。受講者の数の多さにビビりながらも、講義は始まったのである。

以下、講師と、受講者と、私と、私の心とのやり取り。

(講師) いいですか皆さん。お客様がお見えになったら、まずはその服装に注目しましょう。その方がどんな方なのかイメージできるはずですよ。イメージに合わせたカットを心がけましょう。洗いざらしのシーズンズに白いTシャツ。彼はきつとスポーツマンですよ。大学のサークルでは何をやっているんですか？

(私) ハーモニカバンドというサークルで、ハーモニカを吹いています。

(講師) ハ、ハーモニカ?・・・。少しユニークな方ですね。

(受講者) 爆笑!

(私の心) コラーッ!ハーモニカなめんなよ!

(私) 高校までは、陸上競技やっていました。

(講師) ほらやっぱり。少しユニークなスポーツマンということですね。

(受講者) 爆笑!

(私の心) コラーッ!笑いすぎやろ!

(講師) それでは始めますよ。まずは顔を拝見っと。おっ!キリっとした眉ですね。まさに九州男児。

(受講者) うん、うん、と一斉に頷く。

(講師) あれっ?皆さん、何かおかしなことに気づきませんか?

(受講者) 一斉に私の顔を凝視する。

(講師) ここです、ここ。おでこが狭い。

(受講者) うん、うん、と一斉に頷く。

(講師) えー、おでこが狭いと、あまり知的に見えませんが、そういう時にはですね、このように「えいっ!」と、前髪で隠してあげると良いでしょう。

(受講者) うん、うん、と一斉に頷き、何やらメモを取っている者もいる。

(私の心) コラーッ!メモとる必要あるんかい!

楽勝なアルバイトなどないということを思い知り、5千円を握りしめた私だった。島原高校の生徒の皆さん、お金を稼ぐということは、とても大変なことです。保護者の方々への感謝の気持ちを忘れないでください。



プライダルショーのアルバイト写真。
こっちも、1日で5千円。



やっぱり前髪で
おでこを隠している。

歳末たすけあい募金活動

生徒会指導部

12月10日から12月14日の日程で、今年度も「歳末助け合い募金活動」を実施しました。

各クラスの規律委員を中心に、クラスやエレナ島原店、イオン島原店での街頭募金を行い、生徒の皆さんや地域の方々の協力で、合計94,353円(ボランティア部21,550円)が、集まりました。集まった募金は、12月18日に、佐藤光太郎常任委員長が島原市社会福祉協議会に持参し、贈呈しました。また、同日、島原高校のこれまでの貢献に対して、長崎県共同募金会から感謝状が贈呈されました。



1年生探究活動 中間発表会

教育企画部

12月13日(金)、1年生の探究活動中間発表会を実施しました。どの班もフィールドワークや実験をとおして考えたことや発見したことを効果的にまとめて発表できました。また、振り返りの時間には、他の班の生徒たちからもらった評価シートを読んで、今後の探究活動につながる新たな視点を得たようで、これからの活動への意欲をさらに高めた様子が窺えました。79回生の本発表が楽しみです。



2年生探究活動 中間発表会 市内展示

教育企画部

11月中旬に本校体育館等で実施した2年生の探究発表中間発表会のポスター資料を、イオン島原店様のご協力を得て、12月11日(水)~25日(水)の期間で店内展示しました。本校文理探究科2年生の生徒たちが4月から進めてきた研究成果に対して、お客様からのシール投票やポストイット貼り付けによるコメント募集を実施したところ、たくさんの反響をいただきました。1月には、イオン有家店の方でも引き続き展示をさせていただく予定です。ぜひお立ち寄りください。



第2学年修学旅行

2学年主任 荒木 健輔

第2学年(78回生)は文理探究科が12月2日から、普通科が12月3日から3泊4日の日程で台湾への修学旅行に行きました。

1訪れた台北市は人口300万を超える台湾の首都であり、都心の大きなホテルを拠点として観光地、自主研修、学校交流などを行いました。



2初日に訪問した「台北101」は地上101階建て、高さ509.2mの大きさで、地上382.2メートルの展望室ではちょうど大谷翔平選手の50号HR記念ボール(6億6000万円)が展示しており、台北市の夜景とクリスマス前で彩られた街を楽しみました。個人的には、当時世界最速(時速60km)といわれたエレベーター(東芝製)が興味津々でした。速すぎて耳が痛くなりました。

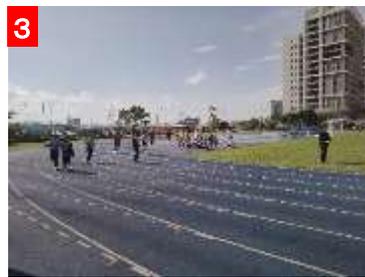


3学校交流では、台北市立中正高級中学の生徒と体操(学校独自の体操)やリレー(校内に400m全天候型トラックがある陸上部的には超羨ましい)をして気持ちをほぐし、文化交流などを行いました。



4九份は特徴的な観光地で、茶芸体験をしました。薫り高いお茶をおいしくいただきました。

5士林夜市では、各班夜の台北の雰囲気を楽しんだようです。あんなに景品getしてどうするんだろう？



6自主研修では、地下鉄のフリーパスを手に、台北市内を動き回ったようです。知らない土地で、知らない言葉と文字があふれる中、使い慣れないお金を使い、知らない乗り物に乗ってと、あらゆることにドキドキしながら、自分たちで事前に調べ設定した目的地を目指し移動していくことは、国内では味わえない体験となったはず。無事時間内に戻ってきた子どもたちはいい表情をしていました。台北の夜の姿もホテル周辺の限られた範囲ではありましたが感じることができました。



7国際探究に所属する生徒は昨年の卒業生で今台湾の輔仁大学に進学している生徒とも話す機会を持ってました。

8食事は文化、習慣の違いを大きく感じる瞬間だったようです。自分でも初めて知る、合う合わない(好き嫌い)と出会ってしまった子もいたようですが、その出会いも含めて海外体験ならではの思い出ではないかと思いました。



今回の経験は、日常では得られない経験となったはず。様々なことを受け入れる姿勢、また、そこで感じた「もっと私に〇〇ができれば」という思いは、戻ってきてさらに力をつけるモチベーションとしてもらいたいと思います。集団行動の為、服装や時間など制限をかけた点もありますが、だからこそ、次はもっと様々な力をつけて自分で、自分たちで、再び台湾へ、または他の国々へ飛び立ってほしいと願っています。

最後になりましたが、2学年保護者の皆様におかれましては、朝の早い時間及び夜の遅い時間に、送迎していただき、ありがとうございました。

令和7年1月の主な行事予定

4日(土) 共通テストプレ(3年~5日)	20日(月) 共通テスト自己採点
6日(月) 冬季補習(3年~7日)	21日(火) 特別編成授業開始(3年)
8日(水) 3学期始業式	26日(日) ハイレベル模試(1・2年)
17日(金) 共通テスト出陣式	27日(月) 高校入試特別選抜会場設営(午後放課)
18日(土) 大学入学共通テスト(~19日) 進研実力テスト(1年)	28日(火) 高校入試特別選抜検査(家庭学習)
進研実力テスト(2年~19日)	